

# 光栄の森

平成26年1月 毎月1日発行 第67号

発行者 光栄プロテック 吉竹

## 新年を迎えるにあたって

□

代表取締役 三田雅憲

明けましておめでとうございます。

旧年中は、社員皆様及びご家族様に多大なご協力を賜り本当にありがとうございました。本年もどうぞ引き続きよろしくお願いいたします。

世の中を振り返りますと、自民党が民主党から政権を奪還し安倍内閣が誕生したこと、株価が上がり円安が進み大企業を中心とした収益改善が進んだこと、オリンピックが東京に決定したこと、富士山や和食が世界文化遺産に登録されたことなど明るい話題がたくさんありました。

反面、福島を中心とした原発の放射能問題に関してはまだまだ解決の糸口がなく、今もなお避難生活を余儀なくされている方がたくさんおられ、対中国・対韓国に関係も根深い問題を抱えております。五輪のイメージや各国への支援活動によるイメージのためか毎年恒例の清水寺で行われる“一年の漢字”が「輪」と決まりましたが、個人的には「輪」とは程遠い年であった気がいたします。

しかしながら、光栄プロテックの一年を振り返ってみるとこの「輪」という言葉がよく当てはまっているのではないかと感じました。トライアル雇用を含む、4名と新卒1名の合計5名の新たな仲間が当社の輪の中に入ってくれたこと、そしてそれ以上に、新入社員の歓迎会や忘年会など和気合い合いとした中で長くから在籍してくれていたような雰囲気や皆が馴染んでくれたこともたいへんうれしく感じました。

今年は、少し人事異動もありますがそれぞれの持ち場をしっかりと守っていただきたく存じます。東京営業所もいよいよ始動を開始いたします。派手にせず、地道に一步一步進んでいきたいと考えております。東京と大阪で光栄プロテックが真価を発揮できるよう皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

そして、各班長に対しては今まで以上に“数字”に関して敏感且つ正確な判断をお願いしたいと思います。納期も数字ですが、製品の完了数量や材料の在庫数・仕入費用なども大切な数字です。図面の数値やマスキングの寸法もまたこの“数字”に当てはまります。人員を配置する際の人数や人の移動などもこれに含まれます。製品の仕上げにかかる時間やミーティングの時間も数字となります。いずれにせよ、経費という数字を最小限に、売上という数字を最大にすることが単純な意味での利益となると考えます。今年はぜひ数字を大切にもらい、最大の効果が出るようにお願いします。

また、ベテラン社員の方には技術だけではなく人間としての機微(細やかな心・相手の気持ちを察する心)を若年社員に継承していただきたくお願いします。私自身は今年の干支どおり、颯爽と駆ける馬の如く東京と大阪そしてまだ知らない関東のさまざまな場所へ仕事を求めて走り抜けていきたいと考えております。関東での「光栄プロテック」の認知と売上拡大の第一歩となるよう頑張りますので、どうかよろしくお願いいたします。